

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
奥	(危険な空き家対策について) 昨年の行政懇談会で危険な空き家対策をお願いしたところ、申請すれば市役所が対応するとの回答でしたので令和6年4月1日奥地区より空き家対策特別措置法に基づく2軒の空き家対策をお願いしました。3カ月経過しましたが如何になりましたでしょうか？この間も空き家の危険度は増しています。	地区からの要望書の受理後に調査を実施し所有者情報取得した後、空家の適正管理の願いを送付したところ、1件は除却が完了いたしました。残る1件につきましては、相続放棄されている方もおられるなど残る相続人を調査中ですので、分かり次第、今後の意向を聴取いたします。	都市整備部
奥	(イベントと区の財政について) 現在自治振興協議会と女性部の2件の補助金を頂いています。補助金は上限付きで補助率75%、残りの25%は区費で賄っていますが収入源の区費は伸びず預金は減少しています。多面的事業は個人に入金される良い仕組みですが、区民の労働によって得た報酬を区に入金できるような新たな企画はありませんか？	現在、地区自治振の自主性を尊重しつつ、相互の緊密な連携のもとに、協働して地域社会の振興・発展に努めています。今後も引き続き活動補助金を中心に、ご支援させていただきます。区民の労働によって得た報酬につきましては、道路愛護作業奨励金、中国自然歩道管理委託料等を活用していただきたいと思います。新たな情報がありましたら、周知させていただきます。	市民部
奥	(アダプト事業について) これは県の事業ですが、あえてお尋ねします。アダプト事業による報酬金は安すぎます。1ha以上もある広大な吉野川河原を全部草刈りする費用として現在の報酬金は適正ではありません。自走式草刈り機2台のリース代約7万円+約100人で1時間、これが年2回。困みに現在のアダプト事業報酬は年間9万円です。	おかやまアダプト事業に参加いただきありがとうございます。県に確認したところ、今年度新規事業によりアダプト事業参加団体を対象に自走式草刈り機の無償貸し出しを実施しており、来年度も継続されるということです。主な貸出条件としては、アダプト団体であり操作説明会に参加していること、ガソリン代は利用者が負担すること等となっており、台数が限られるため、他団体との調整を要する場合がありますが、活用いただければということです。	都市整備部
奥	(休耕田からも水費を徴収しなければならない現状について) 長年続く休耕により水田は荒れ果て、かといって原野と認定してもらえない為に水費を払い続ける現状。水費不足を補うために遊休田からも水費を徴収する現在のシステム、市の介入や補助でこの悪循環を解消する方法はないでしょうか？次の世代に水費と言う負の遺産を残したくない、皆さんそう考えています。	農業水利は農業の基盤であり、先人から受け継いだ地域の共有財産ですが、元来、水利の運用・管理は、多くが農業水利の利用者である水利組合(任意に設立)や土地改良区など、農地を所有される農家の方々により担われており、各地域の実情に応じた運営管理が行われていると思います。農業水利に関する補修や工事については、多面的機能広域活動組織に加入されていれば当該事業で対応を検討することができますが、水利費の扱いについては各地域の実情に応じた取り決めがあり、さまざまな方法で運営されていることから行政が立ち入ることのできない案件と考えますので、ご理解をいただきたいと思います。	農林政策部
奥	祭り、盆踊り等の地域イベントを自治振興協議会補助金を貰って行っているが、25%の自己負担が必要で大変である。地域行事継続のために新たな制度が考えられないか。また、井堰管理の電気代が60万円必要なので市でいくらか補助してもらえないか。	奥地区だけの課題ではないため、勝田地域や大原地域など他地域での自治振としての考え方を整理し、今後検討していく。水利費負担金については、多面的機能支払交付金が充当できないか検討させていただきたい。	市民部 農林政策部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
福本	(英田保育園施設廃止後の利用について)(施設の撤去を前提にして)福本地域には、子どもたちが安心して遊べる公園などの施設がないのが現状であり、子どもたちは、自宅近くの道路で、キャッチボールをしたり、自転車に乗ったりして遊んでいる。“東屋や遊歩道にベンチがあり、広場では子どもたちがキャッチボールをしている。それをベンチや東屋の椅子に座り、優しく見守りながら、談笑している祖父母や近所の人がいる。”そんな地域住民の憩いの場としての公園、「いつでも、だれでも、安心して利用できる公園」をご検討いただきたい。なお、施設がそのまま残るなら、地域のコミュニティ活動の場として、その1室を利用させていただきたい。	新園舎移転後の英田保育園、英田幼稚園園舎の活用方法については、具体的には決定しておりません。 英田地域の方が地域コミュニティ活動を行う集会施設として地元管理をしていただけるのであれば必要な改修を行ったうえで貸与することは可能と考えます。 また、旧英田保育園利用申請を提出されている団体もあり、地域で具体的な使用方法や運営方法等ご協議いただき、ご相談いただきたいと思います。	教育委員会
福本	(部活動の地域移行について)部活動の地域移行を心配しています。人員の確保、それに対する予算など。	美作市では、部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来に渡って子どもたちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保するため、地域クラブ活動への移行に向けて、子どもの多様な体験の機会を確保するための方策や、人材確保等を含めた持続可能な運営を図るための体制整備等について、「美作市立中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において協議を進めているところです。	教育委員会
上山	(県道414号について)上山東地区内にて、道路脇の雑木が道路上まで伸び、冬に降雪時は融雪しにくい。倒木が多く落石等の原因にもなっている。道路上のみ伐採を要望します。	現地の状況を確認し、岡山県に要望して行きたいと思いますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部
上山	(地蔵之滝について)参道にマムシが出没します。注意看板or駆除を要望します。	地元の方と協議し現地の確認を行い対応可能な方法を検討いたします。	英田総合支所
上山	(消防河搬ポンプについて)若人が少ないので消防班を編成しにくい。初動隊に筒先1人でポンプ始動～放水をリモコンできるポンプを開発してほしい。吸管は今まで通り？	単独で放水できるリモコン式消防ポンプの開発について、現在のところ国内ポンプメーカー及び全国の消防本部において開発は行われていません。今後の開発予定についても未定とのことです。	消防本部
上山	(英田診療所 診察回数縮減について)本年度4/1より英田診療所の診察回数を半減した理由を説明されたい。普通の商売であれば、売上高が減少すれば規模の縮小・廃業などは当然かも知れないが患者数が少ないからとの理由で半減することは公的医療機関としての目的に反しているのでは…。現状は月曜日午後1:30～15:30の診療と聞いているが、自家用車を運転できる患者は湯郷FCに行ったり、他の医療機関を探して受診している医療難民とも言える状態である。医療機関の紹介・交通手段の対策等々も考慮せず半減させた意図を説明されたい。現状の診療状況も併せて説明されたい。	公的医療機関が運営する、へき地診療所である以上、地域の皆さんが安心して暮らすことができる医療体制の確保は果たすべき役割と感じていますが、近年の受診者数の減少もあることから、指定管理者の更新となる今年4月からは1回/週の診療体制に変更しました。また、診療の曜日についても、指定管理者にできるだけ既存の曜日で要望しましたが、医師の働き方改革等の影響もあり、また、指定管理者本体の病院の診察日程との兼ね合いもあり、変更せざるを得ない結果となり、地域の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いします。なお、昨年4月から7月までの4カ月間と、今年の同月の4カ月間での診療実績を比較しますと、診療日数は昨年が30日、今年が13日。患者数は昨年が79人、今年が43人で、1日あたりでは昨年は2.6人、今年が3.3人となっています。診察日数が半減しています。総患者数は半減していますが、1日あたりの患者数はいくらか増加しています。一定数の患者様に対してはかかりつけ医としての役割が維持できているものと思われます。なお、今後とも、診療所の維持について鋭意努力してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。	保健福祉部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
上山	(河会地区の交通手段について)前項にも関する問題であるが、3年～5年先には所謂団塊の世代が80歳になる時代である。やがて免許の返納を余儀なくされる時代が到来すること必至であるが、行政としては河会地区の交通手段をどの様に考えているのか説明願いたい。河会地区は公共交通は一切なく、医療機関・買い出しも不自由な地域である。美作市としてはタクシー利用者証を発行し半額負担と銘打ってはいるものの、下記に示すタクシー料金を年金生活者が支払いながら生活できるか否かを考慮・再考を願いたい。	美作市タクシー利用補助事業については、高齢者等交通弱者の移動手段の確保を目的として、平成29年度から規則を定め実施しているものです。現行では半額補助となっていますが、制度を見直しつつ事業をより良い方法で継続できればと考えています。なお、英田地域においては、予約型乗合タクシー「あいタク」が運行されており、福本までは200円で利用できます。「あいタク」と併用してタクシー補助を利用させていただくことで、負担を軽減できます。	市民部
上山	令和4年6月に土砂等の撤去をして頂いた上流部分です。小さい雑木等と雑草が谷川に茂っており土砂が堆積しています。雑木等と土砂の撤去をよろしくお願いします。	現地の状況を確認し、検討して行きたいと思いますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部
上山	(かじかパークの管理棟修理改築について)かじかパーク管理棟は3間×6間半19.5坪の建物が存在しているが、昭和30年代に建築されたもので鶏の育雛所として使われていました。屋根のセメント瓦が大きく傷み数カ所雨もりしています。このままでは倒壊せざるを得ないので、大修理か撤去して新築をお願いいたします。	大修理、新築は対応が困難な為、現地精査を行い来年度以降の対応となりますが雨漏り等の修繕を検討し、施設の長寿命化を目指していきたいと思います。	英田総合支所
上山	(路線バスの運行希望について)福本から横川までの定期運行 一日一往復を希望 高齢者の移動手段(診療所・病院)通院のため。	週に2日となりますが、英田地域においては、予約型乗合タクシー「あいタク」が運行されています。こちらを利用してください。	市民部
上山	(河会診療所の再開希望について)河会診療所の再開 週2日 バス運行日と同じ日が希望です。高齢者生活補助医療の充実に留まらず、生命に関わることです。早急に対応下さい。	公的医療機関が運営する、へき地診療所である以上、地域の皆さんが安心して暮らすことができる医療体制の確保は果たすべき役割と感じていますが、近年の受診者数の減少もあることから、指定管理者の更新となる今年4月からは1回/週の診療体制に変更いたしました。また、診療の曜日についても、指定管理者にできるだけ既存の曜日で要望しましたが、医師の働き方改革等の影響、指定管理者本体の病院の診察日程との兼ね合いもあり、変更せざるを得ない結果となり、地域の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いします。なお、バス運行日との調整については、検討したいと思います。今後とも、診療所の維持について鋭意努力してまいります。ご理解をよろしくお願いします。	保健福祉部
	(中川地区舗装の整備について)中磯から十丁トンネル迄の道路全面舗装整備の依頼。岡山国際サーキットの利用者も大幅に増え、姫路方面に抜ける大型車両が増えています。大型車両は道路の損傷傷みが特に激しくなります。この道路は地域住民の生活道路のため早期の実施をお願いします。	現地の状況を確認し、県に要望して行きたいと思いますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
河会	（英田診療所について）英田診療所の継続について、今年4月より、週2回から週1回に変更されました。これは、診療所閉鎖の前触れの感じがします。今後高齢化が進み、どうしても必要な施設です。患者の多少にかかわらず、健康寿命を延ばすには欠かせない問題です。	英田診療所は、へき地診療所として美作市が平成25年から令和5年度まで2回/週で指定管理事業者に診療を委託しました。公的医療機関が運営するへき地診療所である以上、地域の皆さんが安心して暮らすことができる医療体制の確保は果たすべき役割と感じていますが、近年は受診者数が減少している状況であったため、指定管理業者の更新となる今年4月からは1回/週の診療体制に変更いたしました。なお、現状、診療所の閉鎖は考えていません。今後とも、診療所の維持について鋭意努力してまいりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。	保健福祉部
河会	（公共交通について）高齢者に対するタクシー利用も含めて、公共交通の検討もお願いしたい。例えばデマンドバス、巡回バス等	美作市における公共交通については、路線バス、鉄道等基幹路線を維持しつつ、その先を小回りの利くドアツードア型を重視した交通システムでカバーするという大まかな構想は持っています。その実現のため市民、事業者の皆様とともに検討を進めてまいります。	市民部
河会	（文化施設について）湯郷文化センターの老朽化により、新庁舎の隣に、文化施設の建設が計画されていましたが、いつごろ、建設の予定なのか。（文化ホール）市議会の文化施設活性化委員会での報告もあり、また市長も建設に向けての発言もありましたが、現在の様子を伺いたい。	新たな文化施設については、現在その内容等について検討している段階であり、明確な建設時期については決定していませんが、なるべく早期に建築内容を決定し、市民の方にもお示しさせていただけたらと思います。	教育委員会
河会	（粗大ごみの収集について）クリーンセンターは遠いので以前地元で行っていたように2～3年に1回でも、有料でも良いので粗大ごみの収集をして欲しい。	粗大ごみ収集は平成19年に実施して以来行っていません。粗大ごみ収集を実施するにあたり、旧町村単位で行う場合でも最低6か所、10日前後粗大ごみを保管する場所の確保を行う必要があり、さらに、夜間の不法投棄対策、受付の人員配置を行うなど、課題が多いためです。なお、家庭からの一般廃棄物については、市が許可している業者に運搬廃棄を依頼することができます。また、70歳以上の方のみの世帯など、一定の要件を満たす世帯については、粗大ごみのふれあい収集事業も行っていますのでご活用ください。	市民部
河会	（携帯電話のアンテナ設置について）NTTの場合、レピーターをつけても改善されない中で中継のアンテナを是非設置して欲しい。災害時等の緊急連絡に欠かせないインフラ整備だと思う。	概ねサービスエリアとなっていますが、電波状況は各箇所の事情が異なることもあり、まずは地域から事業者に対して、通信に支障をきたしている場所を具体的に明示し、アンテナ設置の依頼をかけていただくこととなります。	企画振興部
河会	（河川土砂の撤去について）河会川谷口橋付近にたまった土砂の取りのぞきをして氾らんを防ごう。	現地の状況を確認し、検討して行きたいと思いますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部
公文奥	（県道百々榎村線と市道中河内名杭線との交差点付近の改良について）美岡道の工事が完了するに伴い、スピードを出す車や日々の交通量の増加が見込まれ、この交差点の通行が危険な状況にあるということが注目されてきている。市道から県道に出る際の安全な通行の確保をお願いしたい。	当該交差点の改良要望については令和6年1月に提出されていますが、県道と市道の高低差が大きく、有効な方法を検討していこうと思います。	都市整備部
公文奥	（英田IC（仮称）を活用した、地域の活性化策について）美作市として英田IC（仮称）付近の活性化策として具体的にどのような計画を考えているのか。現在、遠方から用地取得の打診が来ている状況にある。市の政策を公表することにより、地域の理解を求め、土地の分散を防ぐ必要があるのではないか。	インター付近の下山地内に下水道事業の残土処理場として造成した用地（約11,000㎡）があり、企業誘致の候補地と考えています。	産業政策部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
公文奥	(城田川の護岸修繕)城田地内を流れる城田川の正田橋より上流域での護岸の石積が崩れ大水のたびに、落石が起きている箇所が2か所ある。護岸崩落による河川の氾濫等、災害が起きないうちに改善をお願いしたい。	現地の状況を確認し、検討して行きたいと思いますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部
公文奥	(市道城田線と市道城田北線の水路修繕について)市道城田線と市道城田北線の交差点にある水路が、大水のたびに土砂が水路よりあふれ、氾濫した水、土砂により市道城田線の法面にある水路をふさぐ状況にある。これまで、重機借上げ等で土砂の撤去を行ってきたが、根本的な改善をしてほしい。	根本的な改善は隣接する民地や水路等、改修が現実的ではありません。対応策としては市道城田線北側に管理のしやすい柵を地元で設置してもらい、その柵を超えて南側に流出する土砂については引き続き重機借上げ支援等を利用し維持管理の軽減を図っていただきたいと思います。	英田総合支所
公文奥	(水道の水圧低下について)水道の使用で台所・風呂・トイレ・洗面所の2ヶ所以上を使用するとかなり水圧が低下します。特に地区内で使用している時間帯となると著しく低下します。もう少しなんとかならないものか。	水道水の水圧については、水道法に基づく基準により整備されていますが、地域により配水池の位置、地形により水圧は様々な状況です。また、各家庭への引込管の口径、家屋内の配管の口径により水圧は変化します。地域内の水道本管の水圧を確認したところ、問題はないと判断しています。	都市整備部
公文奥	(名杭の県道と市道の交差点について)新たに車幅を広げる前からではあるが、特に城田側から右折して名杭地区に侵入する時、小回りとなり名杭側からの停止線を踏んでいるので接触事故を起こしそうになる。ポールを立てるとか何らかの対策をしてほしい。	現地の状況を確認し、関係機関(県及び警察)等と協議して行きたいと思います。	都市整備部
公文	(岡山-美作道路 英田IC開通に伴う交通量緩和対策について)英田IC開通に伴い、市道の谷口谷線(名杭-谷口間)の交通量増が見込まれることから、谷口線-谷口水門間の道路拡張工事着工が今秋に計画されています。しかし今現在、かなりの交通量があり、特に県道 位田・飯岡線との三叉路付近は地元住民も含め、交通事故の危険地帯となっています。つきましては、名杭-安蘇間の道路拡張を早期に実現、また誘導のための道路標識の設置等により、谷口谷線の交通量を緩和させていただくよう要望いたします。	県からは、下山地内の名杭の交差点(県道百々榎村線と市道湯名線及び市道谷口線との十字路交差点)周辺の改良工事が完了しているが、そこから榎村方面に向けた道路拡幅の計画は現在のところないと聞いています。県道百々榎村線の拡幅について、また、道路標識の設置についても県に要望して行きたいと思いますので、併せて要望書の提出をお願いします。	都市整備部
公文	(吉野川河川改修および県道位田・飯岡線拡張についての地元説明について)谷口地区対岸の吉野川河川改修工事が部分的には進捗しているようですが、最終の完成予定時期、並びに工事の範囲、あるいは完成の予想図等の提示が谷口地区に対し未だなされていません。工事箇所は対岸の小原地区に限定こそされていますが、当地区は県道 位田・飯岡線拡張工事が予定されており、今後密接に関連するものと聞いています。つきましては吉野川河川改修工事の進捗状況、完成時の図面、鳥観図等を用いての説明、並びにそれを踏まえて県道 位田・飯岡線拡張工事の着工時期、工事計画についての具体的な説明を要望いたします。	吉野川河川改修について、県からは、現在、福本地内の河会川との合流地点から谷口橋までの左岸側の河川改修工事を実施しているところであり、その後、青野谷口地内の右岸側の工事着手となる。膨大な事業費を要するため、完成予定時期については未定と聞いています。また、吉野川河川改修計画の地元説明会については平成28年11月に開催され事業着手されているところですが、現時点での進捗状況等について、また、県道位田飯岡線の青野谷口地内の改良工事についても地元の説明を行うよう県に要望したいと思います。	都市整備部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
公文	（岡山-美作道路 英田I.C付近にサービスエリアの開設について）岡山-美作道路の英田I.C工事もいよいよ本番にさしかかり、その姿が見えてきたところですが、完成後は中国縦貫道 勝央I.Cから岡山県南方面に向かう車両、また京阪神方面へのアクセス車両の利用も激増することが予想されます。しかしながら英田と勝央I.C間は休憩所、トイレ設備さえ無いのが現状です。そこで、新設の英田I.C付近に休憩施設を設けることを要望いたします。さらには、「JA晴れの国岡山」の誘致、あるいは「道の駅彩菜茶屋」をモデルとした第三セクターを立ち上げるなど、地元農産品の販売を主とした商業施設をサービスエリアに併設させることを提案いたします。このことにより、新たな英田地域の観光施設が誕生し、観光客の誘致と経済効果、また「英田」の知名度アップに大きな効果が期待できるものと思われます。英田I.Cは文字通り英田の将来をかけた新しい玄関口になるわけですから、英田地域が通過点とならぬよう県、市の協力を得ながらこのチャンスを生かすべきと考えます。	産業団地については、下山地内に下水道事業の残土処理場として造成した用地（約11,000㎡）があり、こちらへの企業誘致を優先的に考えています。（産業政策部） 美作市内の地元農産物を直売している施設は、作東地域の「きんちやい館」、美作地域の「道の駅彩菜茶屋」及び大阪箕面市の「箕面彩都店」、英田地域の「あいだ館」と4施設あります。それぞれに地元農産物を新鮮で安価に購入していただけるよう、施設の運営組織が努力されていますが、来客者が満足し、喜ばれる直売所、ひいてはにぎわいのある施設を実現するためには、地元農産物を安定して供給できる体制作りが必要だと思えます。このことから需要と供給のバランスを見ながら将来的に判断していかなければならないと考えます。（農林政策部）	産業政策部 農林政策部
公文	（獣害対策について）農作物への鹿、イノシシ等の被害が減らない状況ですが当地区内では柵（フェンス）の資材提供を使った防御が出来ません。よって今以上の捕獲退治を猟友会へ指示命令をして頂き頭数を減らすことによる農作物への被害低減に努めてもらいたい。	イノシシ、ニホンジカ等の有害鳥獣については、猟友会の駆除班に、年間を通し駆除の許可を出し、駆除を行っていただいています。被害があった場合は英田総合支所又は森林政策課にご相談ください。また、柵（フェンス）の設置が難しいようであれば、小規模でも電気柵等の資材費に対する補助がありますので、併せてご相談ください。	農林政策部
公文	（吉野川河川改修について）河川改修の説明会が開催され10年以上になるが何時になったら当地区の改修工事が始まるのか区民から質問されたたびたび困っている。具体的な返事を聞かせてほしい。	吉野川河川改修について、県からは、現在、福本地内の河会川との合流地点から谷口橋までの左岸側の河川改修工事を実施しており、その後、青野谷口地内の右岸側の工事着手となる。膨大な事業費を要するため、完成予定時期については未定と聞いています。また、吉野川河川改修計画の地元説明会については平成28年11月に開催され事業着手されましたが、現時点での進捗状況等について地元の説明を行うよう、県に要望したいと思えます。	都市整備部
公文	（県道位田飯岡線の改良について）No.34との関係がある県道の改修ですが、河川改修の時期が示されないのであれば大和クレス近くの見通しが悪い箇所だけでも一時的な改良が出来ないか。	現地の状況を確認し、上記と併せて県に要望して行きたいと思えますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部
公文	（交通弱者対策について）現在英田地区を見るとタクシー業者が一社営業しているが、ドライバーが高齢化し事業継続できるのか不安である。当地区でも高齢化が進み免許の返納また持たない方が増えてくると思う。その対策として自動運転タクシーサービスの導入を考えたかどうか。英田地区をモデル地区として実証出来ないか。	自動運転タクシー等、AIを活用した技術は日々進歩しています。今後、AI技術を活用した公共交通システムの構築は必須となることから、導入方法や運用コストを含め、関係者と協議を行いながら美作市に適した形態を研究していく必要があると考えます。	市民部
中河内	中河内の農村公園維持管理について、いくらかでも補助金がもらえないか。	維持管理費に市から補助金が出る状況にはなっていないが、多面的機能組織が保有する草刈機械等を利用していただく方法もあります。	農林政策部

令和6年度英田地域行政懇談会提言回答等一覧（11/1）

地区	要望等概要	回答	担当部署
尾谷・椿谷	（市道尾原線の改良工事について）令和3年度に要望書を提出しています市道改良工事の実施の見通しはどのようになっていますか。なお関係者同意書も提出済みです。現在は道幅が狭いので軽四輪自動車でも通行しにくい状態です。緊急自動車も通行が難しく緊急・防災の面でも不便であり、心配です。高齢者世帯が増えています、有事の際、敏速な対処ができますように早急に改良工事をしていただきますようお願いします。	市道改良につきましては、市内全域において複数の要望があり、現状は要望から事業着手までには数年かかります。道路整備にあたっては効率的かつ効果的に進めていく必要があると考えています。また、整備規模等により国庫補助や地方債など、より効果的な財源の活用により市財政の負担抑制に努めながら取り組んでいます。市道尾原線の拡幅要望については令和3年12月に提出されていますが、拡幅要望の区間延長が約160mと長大であり、前述の理由などから新規路線の事業化については財政部局とも協議しながら、検討してまいります。	都市整備部
尾谷・椿谷	（若者が住みよい町づくりについて）尾谷地区は年々村人は減少しこのままでは、限界集落になります。若者が定住しない、未婚者が多い、子供がいない、仕事が無いのが実情です。若者が住みよい町づくりはどのようにお考えでしょうか。これからの、子供たちの未来を考えると不安です、たとえば ・義務教育迄の給食費無料化 ・岡山～美作道の開通を生かした工場・流通団地の造成などをご検討いただきたいです。若者が働く場所が無いと定住は見込めないと思います。	給食費無償化には恒久的財源の確保が必要です。子ども家庭庁を中心に異次元の少子化対策に取り組んでおり、安定財源の確保について国の動向を見据えているところです。子育て支援施策ではこれまで英田地域になかった子育て支援センターを新設しました。育児の不安や悩みを相談でき、未就園の親子が集える場所を提供します。（教育委員会）産業団地については、下山地内に下水道事業の残土処理場として造成した用地（約11,000㎡）があり、こちらへの企業誘致を優先的に考えています。（産業政策部）美作岡山道路整備促進期成会の要望活動等において、美作岡山道路の早期の全線開通を強く要望しています。また、今年7月18日には「安全安心な県土づくり総決起大会」が開催され、県知事をはじめ、県議会議員、市町村長及び議長、地元選出国会議員が一同に会し、関係省庁等に対して要望活動が行われたところです。引き続き県及び関係市町村と連携し、美作岡山道路の全線開通及び吉野川河川改修等の整備に努めて行きたいと思っています。（都市整備部）	教育委員会 産業政策部 都市整備部
	（吉野川改良について）尾谷地区の吉野川堤防・国道374号線改良工事の進捗状況は、どのようになっていますか。近年、全国で大雨による水害が頻繁に発生しています。尾谷地区も例外ではありません、過去にも再々国道374号線も水没し孤立状態になった事があります。これからも温暖化が進み降雨量が増大し水害が心配です、早急に対処して頂きたいです。なお早期の改修が困難であれば、吉野川や尾谷川の浚渫や掘削による河道の確保や支障木や岩石の除去を行っていただきたいと思っています。	吉野川河川改修について、県からは、現在、福本地内の河会川との合流地点から谷口橋までの左岸側の河川改修工事を実施しており、その後、青野谷口地内の右岸側の工事着手となる。膨大な事業費を要するため、完成予定時期については未定と聞いています。また、吉野川及び尾谷川の浚渫及び支障木の伐採等については、現地の状況を確認し、県に要望して行きたいと思っていますので、具体的な箇所を示した要望書の提出をお願いします。	都市整備部